

20210911(土)ELPA教育セミナー2021[日本語編]@Zoom

●

**社会に生きる日本語・国語能力の育成
コミュニケーションとしての日本語・国語**



<https://educational-design.jimdofree.com/>

吉田和夫 yoshidak13@goo.jp

一般社団法人教育デザイン研究所 代表理事

ELPA言語アドバイザー

全日本中学校国語教育研究協議会元会長

日大文理学部非常勤講師

教育課程論・社会教育計画論・教職実践演習担当

元玉川大学客員教授(教師教育担当)

一般社団法人DAC未来サポート文化事業団理事

私のハイブリットな言語学習と言語の指導

- 中学校での国語と英語 得意だった国語応用問題 なぜか好きだった英語
- 高校で出会った英語教師(反面教師) 工業高校での国語軽視と読書タイム?
- 予備校でならった国語 膨大な作文実践 英語構文の理解で突然の覚醒?
- 心理検査と言語、言語心理、意味論、実存主義哲学と弁証法、国語学・国語教師
- 中学校国語&英語教師 米国Chaperon体験 ホリスティックな言語教育の可能性
- 指導主事の行政文書作成と実用的な英語指導 話せなかった英語の指導主事
- 中学校副校長・校長 全日本中学校国語教育研究協議会会長 英語研究部顧問
- 大学教員 論作文・面接・言語系演習授業(成すことで学ぶ言語学習)
- 教育課程と社会教育計画論 演習による授業 表現(書くこと・話すこと)重視
- 国語は本務 英語は趣味 言語対比による言語認識の拡充と習得プロセス
- 言語習得の秘訣とその活用 母語と同じプロセスで他言語を学ぶ(場と機会)
- 言語による演習 様式・図解・言語化による対象化 抽象・具体の往復機能
- 認識内容と言語表現(Contents base の国語・英語・日本語教育)

【1】英語力を上げるには母語（日本語）の力を上げなければならないという意見についての考えは？

全くその通りです。基本的には母語を超える第二言語習得はあり得ません。ただし、第二言語が母語を補強し、そのより高度な習得を促すということはあり得ます。外国語を学ぶことで、母語をより深く認識することになるのは、文化と一緒にです。

【2】日本の高校・国語教育では「文学鑑賞」や日本語特有の「渦巻き型論説文」（起承転結：最初に言うことと結論が異なることが高価値？）の読解優先。それが有識者であっても論旨の整わない言説になる原因では？（日本語教育は最新の第二言語習得研究を取り入れ優れたものとなっている。）高校の「国語」の授業の在り方についてのご提案はないか？

起承転結はある意味大変優れた構造的性を担保しており、作文・論文、プレゼン制作などで活用できます。第二言語習得は英語に「一日（以上？）の長」があるのは確かですが、助詞・助動詞の指導など、日本語特有の指導が必要です。高校の国語について、必ずしも実用的な「資料」の読み取りだけが、優れた言語学習につながるとは考えていません。

【3】現任校の定時制高校では、外国にルーツをもつ生徒が増えています。指導・支援において個別対応の負担が増して超過勤務に。このままでは教員の働き方改革の流れに反する状況が続きます。改善のヒントを。

定時制高校だけではなく、外国人児童生徒は増加の一途です。教員以外の外部支援者（地域学校協働活動や地域のボランティアなど）の効果的活用を学校のシステムに取り入れます。地域学校協働活動が全国で展開されつつあります。

【4】教育現場で日本語指導を必要とするお子さんに対する指導や保護者対応で留意すべき点は？

保護者や児童生徒に寄り合い、日本語の習得を支援することが必要ですが、その際に、母語を疎かにしないように留意してください。文化の多様性や複合性を認め、アイデンティティをもったバイリンガルとなるよう指導することが大切です。

【5】日本人こそ「やさしい日本語」を使う必要があると思いますが、浸透した事例・工夫を紹介願います。

石川陽子先生にお話し戴きますが、小中学校国語教科書で方言と同様に「やさしい日本語」を教材化して学ばせたいです。

【6】海外在住です。日本語学校に通っていないので日本語力がつかないことが不安。3人の子供のうち1人は書き取りなど励んでいるが、他の子にモチベーションを持たせる方法は？

日本の学校や塾とオンラインでつながることで、そのようなプラットフォームを地域で創りたいと思っています。



社会における過重なる言語重視 日本語の在り方に関する疑問



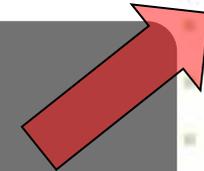
日本語は世界一難しい？

- 発音はやさしい(基本50音) しかし、それにより同音異義語が多い 学びにくく分かりにくい
- 膨大化する語彙 ひらがな・カタカナ・漢字・ローマ字・混合語 フリガナ(ルビ)の多重的構造
- オノマトペ(onomatopiea)擬音語や擬態語 外来語(英語由来) 略語などの増加
- 文法が定型的ではない 助詞・助動詞の機能が強い 主語がなく文脈・文化依存型言語



社会における言語の機能が增大している 言語なくして学習なし

- 大学入試の改訂(実用的な複数文書や図版の解釈) 論文・企画書・提案書・説明書等
- 面接の重視 質問力や傾聴力、対話力・交渉力 面接・協議・合意形成・課題解決の選考
- 英語(外国語)の強化(小学校から英語)・4技能の試験 国際的競争力強化のための英語
- 相変わらず受信し、理解し、少し加工し、発信する力の育成 これで非認知的能力は育つのか



母語としての国語科指導 & 外国語としての日本語指導 & 英語指導

- 母語の習得と言語の習得 生活言語と社会言語と国際言語？ 母語なくしての英語？
- 日本語教育の二重性 国語教育(言語事項・言語文化・言語機能) 日本語教育(道具言語)
- 日本における外国人児童・生徒の増加 英語系ではないので、日本語も母語も獲得できない状況
- 知識注入型⇒知識活用型 場数を踏むことで言語は獲得される 体験学習と系統学習の相克

新学習指導要領
の理念の理解と
その批判的検討
及び具体的方向
や入学試験問題、
教材の在り方へ
の批判

このままで良いのか？ 国語教育・日本語教育、そして英語教育の在り方は？

ちくま新書
1354

皆様、如何お考えですか？

- これからの日本で、日本語だけで生涯の社会生活が送れるのか？
- AI（機器）があれば、他言語修得は不要？ 日本社会の国際化は？
- 日本人にとっての外国語（英語）学習 読み書きから4技能へ？
- 「分かるけれど使えない」英語 なぜ日本人は英語ができないのか？
- 外国人にとって「学びやすい日本語」やさしい日本語とは？
- 日本人だけのための国語教育？ 教科書の内容変化（文学や古典の学習）は？
- 多様性の中での日本語 細かいことに厳密な言語指導は必要か？
- 内容/ Contentsとしての日本語（文化・社会的背景・歴史・古典等）
- スキル（技法）としての修辞/Rhetoric（コミュニケーション技法）
- IB（国際バカロレア）によるLanguage（言語科）の扱いから学ぶことは？
<https://www.ibo.org/programmes/diploma-programme/what-is-the-dp/>
- ホリスティックな言語学習 言語指導におけるホリスティック・アプローチとは

認識（感性・理性）の中核としての言語

知識・技能
コンピテンシー

学びに向かう
力・人間性
学習力・人間力

思考力・
判断力・
表現力

- ・ 言語の価値・意義・機能の理解
- ・ 言語の特徴や規範の理解と使い分け
- ・ **話す・聞く・書く・読むの4技能**の習得
- ・ 言語の使い方や活用の仕方（話し方・聞き方・書き方・表現の工夫）の理解と習熟
- ・ **言語文化・背景社会の理解**

- ・ 情報を多面的・多角的・多重的に理解し精査・構造化する力
- ・ 構成・内容・表現形式を吟味し評価する力
- ・ **言語により相手の感情や感性、理論や論理を把握し、自己の認識に生かし、より豊かにする力**
- ・ **自己の認識（感情・思い・意見）を言語化する力**
- ・ **言語を通して伝えあい、理解し合う力**
- ・ 言語により自己を理解し、考えを形成し、より深める力

- ・ 言語で課題や困難を克服し、言語を通して社会や文化を創造しようとする力
- ・ 言語を通して自己の認識（ものの見方や考え方）を広げ深めようとする態度
- ・ **言語を通して他者や社会と関り、自己を表現し、他者を理解し尊重しようとする態度**

言語を理解し、活用することで、自己の認識を広げ、人生を豊かにするとともに、社会と文化の発展に寄与する。

言語学習の本質とは？

内容 (Contents)

地域

社会

幼稚園
保育園

小学校

中学校

高等学校

大学

成人
就労

引退
高齢者
加齢
障害

法人
組織
企業
自営
NPO
その他

福祉
法人
病院
介護
施設
自宅
その他

家族・家庭・家庭環境

表現・修辞
(Rhetoric)

外国人・第二言語習得

篆刻文字・石や金属、木・毛筆・手
書き・紙・タイプライター・ワープ
ロ・コンピュータ・タブレット・ス
マートホン・音声入力・デジタル化

言語は社会・文化の一部であり
切り離せない存在

外国人も増える？となると子供も！

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～
全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申)(中教審第228号)【令和3年4月22日更新】

5. 増加する外国人児童生徒等への教育の在り方について

(1) 基本的な考え方

- 外国人の子供たちが共生社会の一員として今後の日本を形成する存在であることを前提に、関連施策の制度設計を行うことが必要
- キャリア教育や相談支援の包括的提供、母語・母文化の学びに対する支援が必要
- 日本人の子供を含め、異文化理解・多文化共生の考え方に基づく教育の更なる取組

(2) 指導体制の確保・充実

① 日本語指導のための教師等の確保

- 日本語と教科を統合した学習を行うなど、組織的かつ体系的な指導が必要
- 日本語指導が必要な児童生徒への指導体制の充実
- 日本語指導・母語による支援等の専門スタッフの配置促進と支援体制の構築

② 学校における日本語指導の体制構築

- 日本語指導の拠点となる学校の整備と、拠点校を中心とした指導体制の構築
- 集住・散在等、地域の実情を踏まえた体制構築の在り方の検討
- 拠点校方式等の指導体制構築や初期集中支援等の実践事例の周知

③ 地域との関係機関との連携

- 教育委員会、首長部局、地域のボランティア団体、日本語教室等の関係機関との連携促進
- 特に、教員養成大学や外国人を雇用する企業等との連携

(3) 教師等の指導力の向上、支援環境の改善

① 教師等に対する研修機会の充実

- 「外国人児童生徒等教育を担う教師等の養成・研修モデルプログラム」の普及
- 日本語指導担当教師等が専門知識の習得を証明できる仕組みの構築

② 教員養成段階における学びの場の提供

- 教員養成課程における外国人児童生徒等に関する内容の位置付けの検討

③ 日本語能力の評価、指導方法・指導教材の活用・開発

- 「外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLA」や外国人児童生徒等教育アドバイザーを活用した、日本語能力評価手法の普及促進
- 情報検索サイト「かすたねっと」に登録する教材等の充実や検索機能の充実、多言語により学校生活を紹介する動画コンテンツの作成・配信

④ 外国人児童生徒等に対する特別な配慮等

- 障害のある外国人児童生徒等に対して、障害の状態等に応じたきめ細かい指導・支援体制の構築
- 障害のある外国人児童生徒等の在籍状況や指導・支援の状況把握

(4) 就学状況の把握、就学促進

- 学齢期の子供を持つ外国人に対する、就学促進の取組実施
- 学齢簿の編製にあたり全ての外国人の子供の就学状況についても一体的に管理・把握するなど地方公共団体の取組促進、制度的な対応の在り方の検討
- 義務教育未修了の外国人について、公立中学校での弾力的な受入れや夜間中学の入学案内の実施促進

(5) 中学生・高校生の進学・キャリア支援の充実

- 外国人児童生徒等の進学・就職等の進路選択の支援
- 公立高等学校入学者選抜における外国人生徒等を対象とした特別の配慮（ルビ振り、辞書の持ち込み、特別定員枠の設置等）について、現状把握、情報共有による地方公共団体の取組促進
- 中学校・高等学校段階における進路指導・キャリア教育の取組促進
- 取出し方式による日本語指導の方法や制度的な在り方、高等学校版JSLカリキュラムの策定の検討
- 小・中・高等学校が連携し、外国人児童生徒等のための「個別の指導計画」を踏まえた必要な情報整理・情報共有の促進

(6) 異文化理解、母語・母文化支援、幼児に対する支援

- 学校における異文化理解や多文化共生の考えが根付くような取組促進
- 異文化理解・多文化共生の考え方に基づく教育の更なる普及・充実、教員養成課程における履修内容の充実
- 家庭を中心とした母語・母文化定着の取組の促進、学校内外や就学前段階における教育委員会・学校とNPO・国際交流協会等の連携による母語・母文化に触れる機会の獲得
- 幼児期の特性を踏まえた指導上の留意事項等の整理、研修機会の確保

https://www.mext.go.jp/content/20210126-mxt_syoto02-000012321_1-4.pdf

私の問題意識

1. 母語としての日本語指導＝「国語」学習（認識と言語使用の関連）？
2. 第二言語あるいはツールとしての「日本語」学習＝用具としての日本語？
3. 日本語の難しさ 表音は基本五十音で簡単 言語表記が多様で複雑
4. 英語は日本語に比較するとはるかにシンプルで学びやすい（世界標準語？）
5. 日本語はContext（社会・文化的文脈依存型言語）に依存する言語（行間を読む？）
6. 日本人だけのための国語指導の限界 その内容の変化（教材から資料へ 古典Vs.実用書）
7. 外来語（カタカナ語彙）をどう考えるか？ カタカナになったとたん日本語化する
8. 日本人の外国語（英語）学習 読み書きから4技能への意向は正しいか？
9. 日本での他言語修得 ICT機器・オンライン時代の新しい学び方への移行
10. 日本人にとって、「分かるけれど使えない」英語 国際化への障壁
11. 外国人にとって「学びやすい日本語」 やさしい日本語の意義と価値の増大
12. 多様性の中での日本語 方言と標準語？ 世界の中の英語とこれからの日本語
13. 内容/ Contentsとしての日本語（文化・社会的背景・歴史・古典等）
14. スキル（技法）としての修辞/Rhetoric（コミュニケーション技法）
15. ホリスティックで統一的な学びの実現

違いすぎる日本語と英語

日本語

- 形態論的類型 膠着語（つながる語）
- **順序・形式からの自由 縦書と横書**
- (S)・O・V 配列（原則・不規則）
- 助詞 助動詞
- 母音5(8) 子音10(13) **表記=表音**
- 縦書・横書自由 名詞は活用なし
- ひらがな・カタカナ・漢字・英数字・ローマ字（26文字）複雑
- 多量の外来語（分野別理解必要）
- 多い同音異義語は文脈と漢字で区別
- 立場・役割・性別等による表現
- 他言語と類似性 漢字・音声・文法

英語

- 形態論的類型 屈折語（変化する語）
- **文型（語順）による形式 横書**
- S・O・V 配列（原則規則性 5文型）
- 前置詞 活用語尾
- 母音16(26) 子音24 **複雑な音声**
- 横書のみ 固有名詞は大頭文字
- 原則として英文字・英数字のみ
- 外来語は少なく推測理解が可能
- 表記を表音にするフォニックスの指導
- 立場・役割・性別によらない表現
- 他言語（印欧語族 中国語）と類似性

日英の母音と子音

	/-a/	/-i/	/-u/	/-e/	/-o/	/-ja/	/-ju/	/-jo/
/0-/	あ	い	う	え	お	や	ゆ	よ
/k-/	か	き	く	け	こ	きゃ	きゅ	きょ
/g-/	が	ぎ	ぐ	げ	ご	ぎゃ	ぎゅ	ぎょ
/s-/	さ	し	す	せ	そ	しゃ	しゅ	しよ
/z-/	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	じゃ	じゅ	じょ
/t-/	た	ち	つ	て	と	ちゃ	ちゅ	ちよ
/d-/	だ			で	ど			
/n-/	な	に	ぬ	ね	の	にゃ	にゅ	にょ
/h-/	は	ひ	ふ	へ	ほ	ひゃ	ひゅ	ひよ
/p-/	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	ぴゃ	ぴゅ	ぴよ
/b-/	ば	び	ぶ	べ	ぼ	びゃ	びゅ	びよ
/m-/	ま	み	む	め	も	みゃ	みゅ	みよ
/r-/	ら	り	る	れ	ろ	りゃ	りゅ	りよ
/w-/	わ							

特殊モーラ	N	ん
	Q	っ
	R	ー

日本語

a	æ	ʌ	ə	
ai	ei	ɔi	au	ou
ɔ:				
ə:	ə	ɑə	ɔə	
iə	uə	eə	aiə	auə
i:	i			
u:	u			
e				

英語

s	—	z	ʃ	—	ʒ
θ	—	ð			
f	—	v	r		l
t	—	d			
p	—	b	k	—	g
tʃ	—	dʒ			
m		n	ŋ		
h		w	j		

文法の違い

日本語

- 自立語・付属語で分類すると
- 動詞・形容詞・形容動詞・名詞・副詞・連体詞・接続詞・感動詞（詞）
- 助詞・助動詞（辞）
- 太郎は竜宮城に行きました。固有名詞 助詞 名詞 助詞 動詞 助動詞 助動詞（竜宮城に 太郎は 行きました。）助詞による構文
- 自動詞と他動詞（が～ を～）
- 敬体と常体
- 等時的拍音形式（@時枝誠記）

英語

- 自立語・付属語で分類すると
- 名詞・代名詞・動詞・形容詞・副詞・接続詞・間投詞・数詞
- 助動詞・代動詞・冠詞・前置詞
- Taro went to Ryugu Castle.
固有名詞（名前） 前置詞 固有名詞（場所） 順序によるComposition
- 自動詞と他動詞（目的語の有無）
- フォーマルとインフォーマル
- 音節（おんせつ syllable）単位

日本語という言語についての私の考え

言語相互交流という考え方

- 言語は文化の一部
- 言語は社会の反映
- 言語は社会を方向づける
- 言語に対する感性の育成が大事
- 言語は数ある表現の一部
- 手話も言語
- 記号と言語の関係の考察
- 「その言語」で考えること
- 単なる道具ではなく認識の枠組み
- 他言語による母語の対象化が大切
- 他言語修得で母語の拡充が可能

これからの日本語学習

- Basic English の展開から学ぶこと
- やさしい日本語の教科書教材化の勧め
- 世界の中での日本語・日本文化の意識
- 言語の多様性への寛容
- 標準語一辺倒をやめる（方言の尊重）
- 日本語の国際化＝多様化
- 国語教育と日本語教育の一体的指導
- 「教科書の学習」からの転換
- 有効な「学習材」である教科書の活用
- 多様な教材・本・資料などの参照
- 「探究的な学び」を中核に
- 電子辞書・電子機器の効果的な活用

日本語の現在と未来

国語教育と日本語教育の融合的指導

国語学習の現在と課題

- 母語としての国語（文化・芸術・古典との融合） 縦書文化
- 機能としての国語（作文・論文・面接・対話・折衝・営業） 横書文化
- 外国人家族・児童生徒の増加に伴う日本語使用状況や指導の変化
- 増加する外来語の学び（分野別）
- 教材の精読主義と資料の多読主義
- 国語指導と日本語指導の融和
- 英語教育との関係強化（言語科？）
- 言語指導としての日本語指導
- 「教科書」から「学習材」への方向（デジタル教科書・ドリル等の活用、動画などの配信）

日本語学習の未来

- 母語としての日本語、世界標準語としての英語の融合的学習
- 英語との関係による日本語の対象化
- 言語変化に伴う認識変容の教材化
- 日本文化・社会との一体化の視点
- 方言（地域言語）としての日本語
- 多様性ある日本語としてのやさしい日本語
- 言語科の可能性（日本語と英語？）
- 経験主義（言語生活重視 西尾実氏）と能力主義（言語力重視 言語過程 時枝誠記氏 系統的言語能力指導）の統合

◆気楽に楽しく、長く学べる言語科指導実現
(学校教育と社会教育・生涯学習の接続)

遠隔・オンラインを取り入れたハイブリットな教育

6. 遠隔・オンライン教育を含むICTを活用した学びの在り方について

(1) 基本的な考え方

- ICTはこれからの学校教育を支える基盤的なツールとして必要不可欠であり、心身に及ぼす影響にも留意しつつ、日常的に活用できる環境整備が必要
- 今般の新型コロナウイルス感染症のための臨時休業等に伴う遠隔・オンライン教育等の成果や課題については、今後検証
- ICTは教師と児童生徒との具体的関係の中で、教育効果を考え活用することが重要であり、活用自体が目的化しないよう留意する必要
- 対面指導の重要性、遠隔・オンライン教育等の実践による成果や課題を踏まえ、発達の段階に応じ、ICTを活用しつつ、教師が対面指導と家庭や地域社会と連携した遠隔・オンライン教育とを使いこなす（ハイブリッド化）ことで、個別最適な学びと協働的な学びを展開

(2) ICTの活用や、対面指導と遠隔・オンライン教育とのハイブリッド化による指導の充実

① ICTの日常的な活用による授業改善

- ・ ICTを日常的に活用できる環境を整え、「文房具」として自由な発想で活用できるようにし、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に生かす

② 学習履歴（スタディ・ログ）など教育データを活用した個別最適な学びの充実

- ・ データ標準化等の取組を加速
- ・ 個々の児童生徒の知識・技能等に関する学習計画及び学習履歴等のICTを活用したPDCAサイクルの改善や、円滑なデータの引き継ぎにより、きめ細かい指導や学習評価の充実、学習を改善
- ・ 全国の学校でCBTを活用した学習診断などができるプラットフォームの構築
- ・ 学校現場における先端技術の効果的活用に向けた活用事例等の整理・周知

③ 全国的な学力調査のCBT化の検討

- ・ 全国学力・学習状況調査のCBT化について専門的・技術的な観点から検討を行うとともに、小規模から試行・検証に取り組み、段階的に規模・内容を拡張・充実

④ 教師の対面指導と遠隔授業等を融合した授業づくり

- ・ 発達の段階に応じて、学校の授業時間内において、対面指導に加え、目的に応じ遠隔授業やオンデマンドの動画教材等を取り入れた授業モデルの展開

⑤ 高等学校における遠隔授業の活用

- ・ 同時双方向型の遠隔授業について、単位数の算定、対面により行う授業の実施等の要件を見直し、対面指導と遠隔授業を融合させた柔軟な授業方法を可能化

⑥ デジタル教科書・教材の普及促進

- ・ 学習者用デジタル教科書の効果・影響について検証しつつ、使用の基準や教材との連携等も含め、学びの充実の観点から今後の在り方等について検討
- ・ 令和6年度の小学校用教科書改訂までの間においても、紙との併用が可能な環境下で学習者用デジタル教科書・教材の使用が着実に進むよう普及促進を図る

⑦ 児童生徒の特性に応じたきめ細かな対応

- ・ 不登校児童生徒、障害のある児童生徒、日本語指導が必要な児童生徒を支援しやすい環境の構築に向け、統合型校務支援システムの活用や帳票の共通化等により、個別の支援計画等の作成及び電子化を推進
- ・ 遠隔技術等を用いた相談・指導の実施、ICTを活用した学習支援、デジタル教材等の活用を推進
- ・ 障害のある児童生徒に対する遠隔技術を活用した自立活動支援に係る実践的研究

⑧ ICT人材の確保

- ・ 企業、大学等と連携し、地方公共団体がGIGAスクールサポーター、ICT支援員等のICT人材を確保しやすい仕組みの構築、人材確保・活用事例の全国展開
- ・ 事務職員に対するICTに関する研修等の充実
- ・ 教育委員会において、外部人材の活用も含めたICTの専門家の意思決定を伴う立場への配置促進、ICT活用教育アドバイザーの活用推進

(3) 特例的な措置や実証的な取組等

① 臨時休業時等に学校と児童生徒等の関係を継続し学びを保障するための取組

- ・ 感染症や自然災害等により、児童生徒等がやむを得ず登校できない場合における、学校の教育活動の継続、学びの保障の着実な実施に向けた制度的な措置等の検討・整理

② 学校で学びたくても学べない児童生徒への遠隔・オンライン教育の活用

- ・ 学校で学びたくても学べない児童生徒（病気療養、不登校等）に対し、遠隔・オンライン教育を活用した学習を出席扱いとする制度や、成績評価ができる制度の活用促進に向けた好事例の周知、制度の活用状況の分析、より適切な方策の検討

③ 個々の才能を存分に伸ばせる高度な学びの機会など新たな学びへの対応

- ・ 特異な才能のある児童生徒に対し、大学や研究機関等の社会の多様な人材・リソースを活用したアカデミックな知見を用いた指導に係る実証的な研究開発を推進
- ・ 義務教育段階において、教科等の特質を踏まえつつ、教科等ごとの授業時数の配分について一定の弾力化が可能となる制度を設ける
- ・ 特別な配慮を要する児童生徒に対し、特別の教育課程を編成し、学校外での受講も可能とする遠隔教育を行う特例的な措置を講じ、対面指導と遠隔教育とを最適に組み合わせた指導方法の研究開発を実施
- ・ 高等学校段階において、家庭における同時双方向型オンライン学習を授業の一部として特例的に認め、対面指導と遠隔・オンライン教育とのハイブリッド化を検討

コミュニティ・スクールとスクール・コミュニティ ⇒ ラーニング・コミュニティとは？

ラーニング・コミュニティ 世界とのネットワーク

ラーニング・ソサエティー

英語
世界

日本語
世界

スクール・コミュニティ

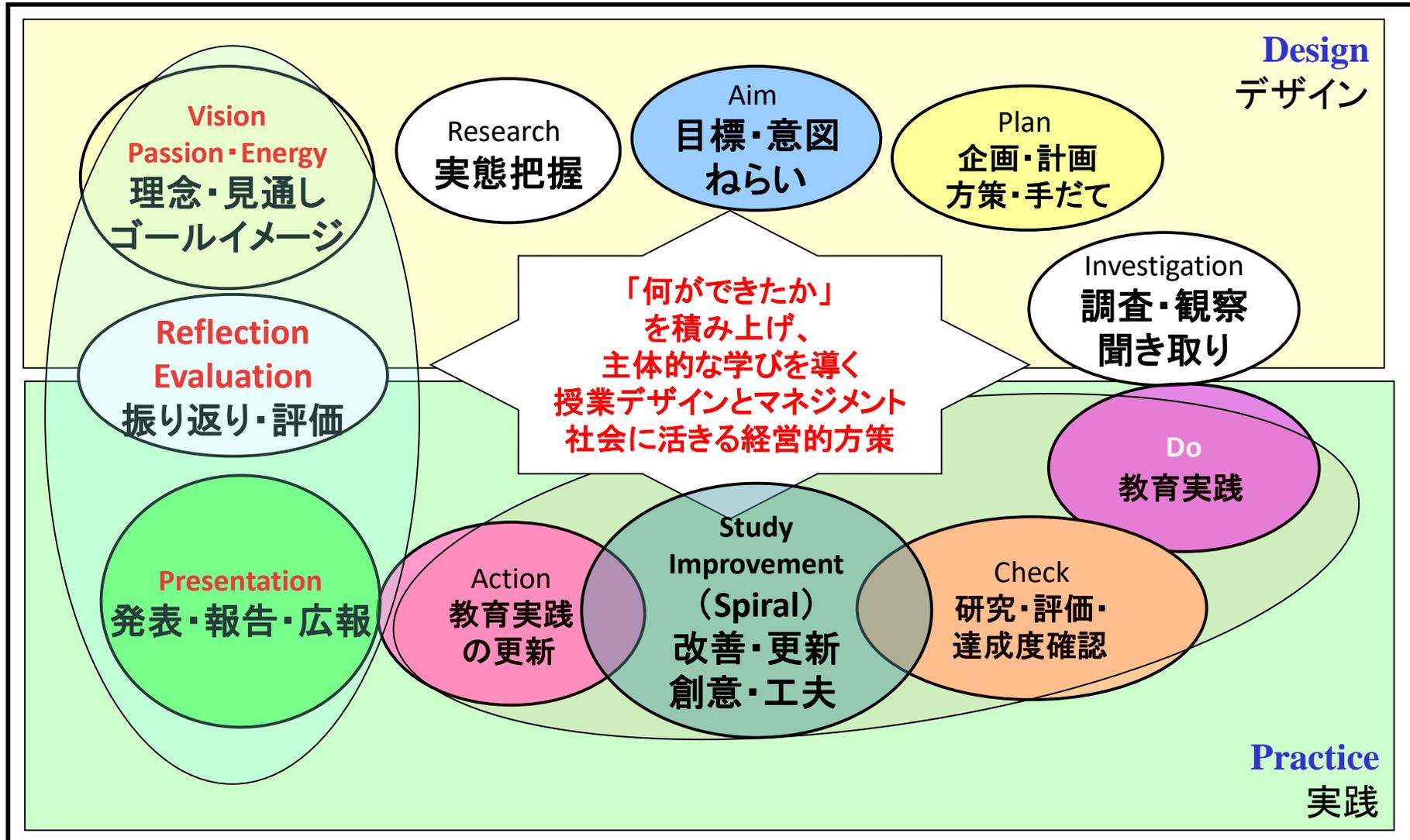
学校
家庭
地域

コミュニティ・スクール

学校
運営協議会

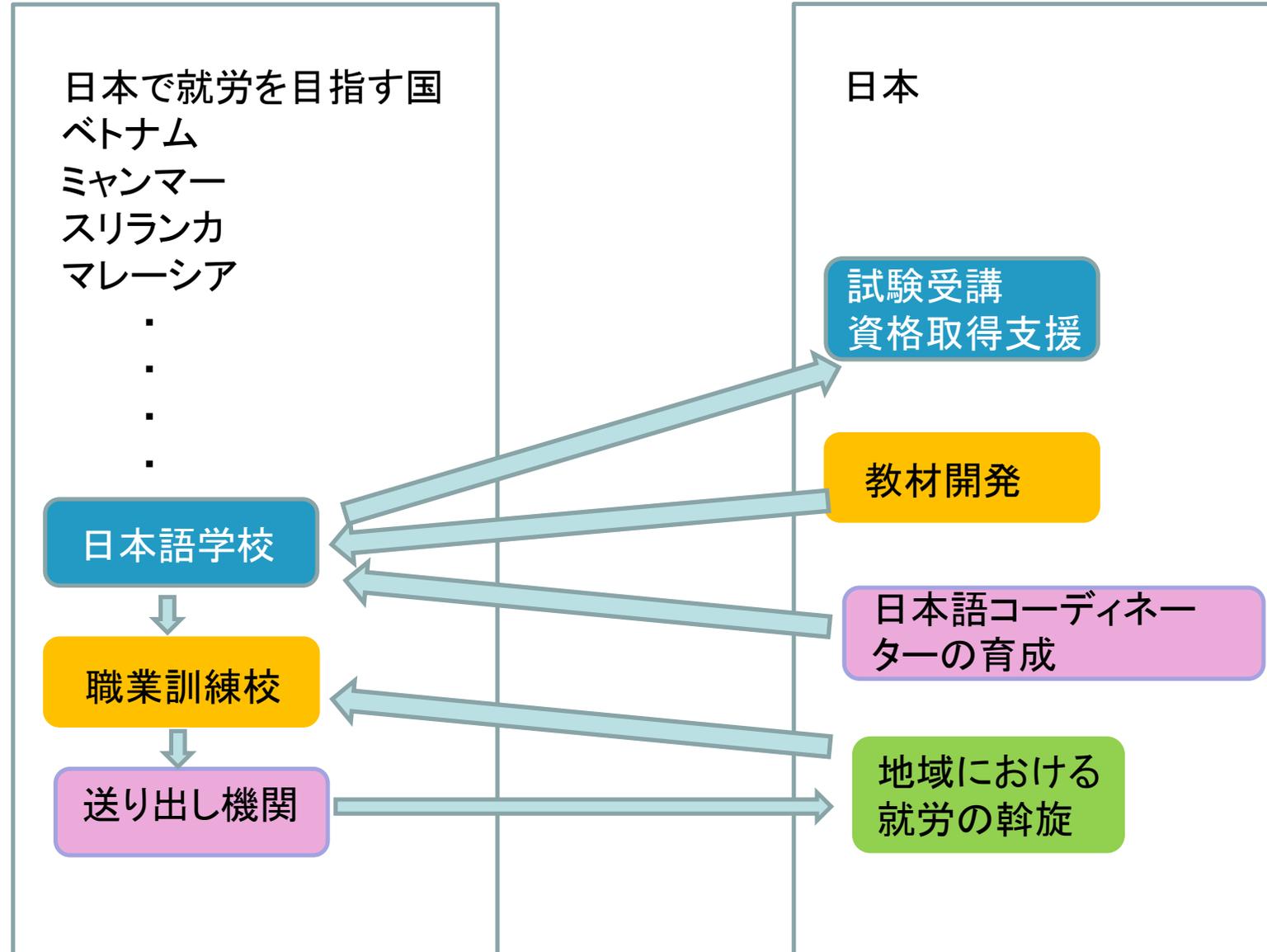
社会に開かれ
た教育課程

生徒の「学び」の力を高め、社会で生きる 学びのデザインとマネジメントのサイクル



指導から「学び」へ このマネジメント・サイクルを生徒の「学び」と実践に活かす

外国人を地域に招き入れるための方策 日本語コーディネーター育成という方法



学校での学びをもとにするからこそ出来る、 地域での生きる力としてのICT・プログラミング学習

目指しているのは

小・中・高・大の進学、社会生活 & 家庭生活など将来に役立つ生きる力としてのプログラミング学習

- ・生きる力として、何かを解決するための学びの一環としての汎用的なプログラミング
- ・無料ツールのより有益な活用、複数の無料ツールを効果的に連携のためのプログラミング

無料のオンライン・オフラインツール

ビッグデータ収集 & 各種

(データ分析・実験・理解・調査 & 判断 & 能力育成)

動画制作

(学習成果プレゼン、アート)

楽譜ソフト

(音楽学習・オーケストラ協働学習・情操)

Youtube & Google翻訳

(海外学習Youtubeによる情報収集、言語学習)

数値・数式・グラフ

(算数・数学・データ分析・実験)

3Dモデリング

(空間把握・シミュレーション、アート)

Atalas系・Universe系ツール

(地理・地学の学習 & 研究・情操)

Googleドライブ

(作文・レポート・記録)

高機能Scratch

(算数・アート・EXE生成・Python連携)

いずれのツールも各々に備わるプログラミング機能で、より一層効果を発揮します。

活用・連携

Python・世界標準超軽量簡単シンプルUNIXシェルスクリプト

いずれも各省庁が提供するものや世界的に利用されている無料のオンライン・オフラインツールを利用

EdriStudy 地域の保護者の方々、子どもたちとともに 新たな学びを！



～ 学校での授業をもとに、楽しく、そして未来に生きる力を育てるために ～

《学習ナイト》

リアル(公共機関など):1名から5名、Zoom(ビデオ不要):1名から2名

- ・学校で学んだことをもとに、さらに楽しく学びたいと思ったとき、学ぶための全教科の教材はネット上に溢れています。
- ・でも、それを上手に利用したり、楽しく学んだり、将来のためになるように上手に学ぶのは一人では難しいと思います。
- ・学習ナイトが、保護者の方と相談しながらお子様が楽しく深く効果的に学べるように教材をアレンジしてサポートします。
- ・地域で保護者様とお子様と一緒に楽しい学びの食卓(教材シェフが美味しい料理、学習ナイトが楽しい食卓のサポート)

世界で標準的に利用されていて無料で利用できるオンラインツールやオフラインツール
～進学しても社会に出ても家庭でもずっと学びと生きる力として役立つように～

♪比較検討の中から将来にわたって継続して利用できるものを研究して選んでいます♪

学習ナイトも一緒に利用します→楽しい学習用教材へアレンジと味付けをするため

栄養価の高い学びの素材を楽しく学べるように教材シェフがアレンジ(味付けと盛り付け)

学習指導要領関係の
サンプル問題
～文部科学省～
(国立教育政策研究所)

各教科書会社提供の
無料副教材
(学校利用の教科書
会社を事前に確認)

中学・高校入試で
各校が公開している
各教科の入試問題
及び解答・解説

MITや東大など世界
の大学などが
無料公開している
動画・PDF教材

日本語・英語での著
作権フリーの名作本
(著作権フリーの
素材・音源・挿絵)

学びの基本部分と方針を
正しく確実に把握する

これと一緒に上手に利用
して楽しく学ぶようにする

入試問題は苦いけど栄養
が満点、良い素材になる

将来の学習傾向を把握し
て今の学習に活かす

日英での良い読書での
作文力と知力の向上



お聞き戴き、ありがとうございました。

(一社)教育デザイン研究所

新宿区四谷1-18高山ビル JR/地下鉄四ツ谷駅徒歩3分

TEL 03-5341-4227 Fax 03-4332-2338

リアルとオンラインによるハイブリットな学びの追求

非常勤講師を正規教員に！(Zoomによる教員採用試験対策講座)

表現・創作型の英語・国語・プログラミング等の言語学習指導

大型タッチスクリーンによるハイブリットスタジオ/会議室設置予定

<https://educational-design.jimdo.com/>

事務局: yoshidak13@edri.tokyo 個人 yoshidak13@goo.jp

日本大学文理学部教育学科(非常勤講師)

文部科学省審査会(主査)

町田市教育委員会教育プラン点検評価者

町田市社会教育・生涯学習審議会(会議長・会長)

町田市図書館協議会委員・小金井市図書館協議会委員

東京都教育委員会地域協働活動推進事業推進員

・狛江市地域協働活動統括コーディネーター

DAC未来サポート文化事業団(理事)

NPO英語運用能力評価協会(言語アドバイザー)

毎週金曜日Zoom懇
談会開催

[https://us02web.zoo
m.us/j/81263879940](https://us02web.zoom.us/j/81263879940)

?pwd=NEZ5ODI5RE
VqaUpUYIJDd0xvOF
Q1UT09

ミーティングID: 812
6387 9940

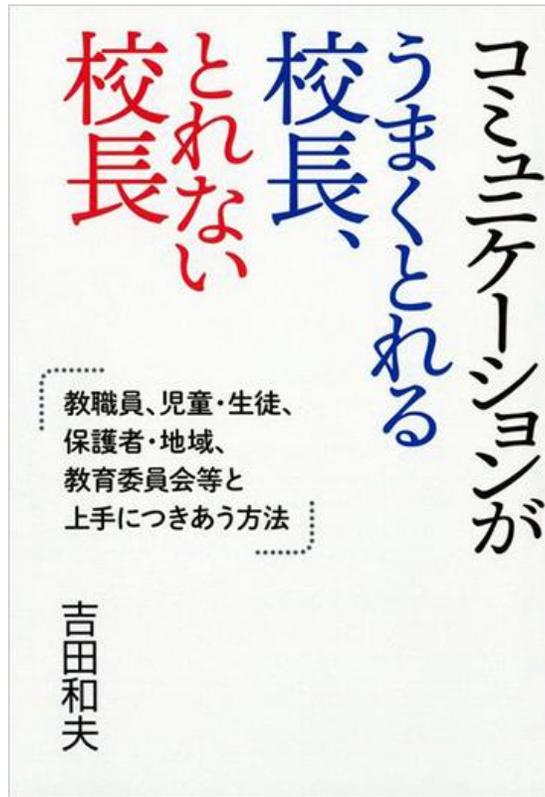
パスコード: Pv1P8Y



私たちがご提供できること

- ★ 四谷のオフィス・会議室の提供
(四谷駅徒歩3分便利で静かな環境)
- ★ オンライン・ハイブリットスタジオ
- ★ 学習や人財育成・能力開発
- ★ コンサルタント・アドバイス・コーチング・コンシェル
ジェ 等による支援
- ★ 地域学校協働活動コンシェルジェ
- ★ Zoom学習の支援

新刊 コミュニケーション・ストラテジーの提案



吉田和夫 著
四六判 192ページ 定価(本体1,800円+税)

ISBN978-4-7619-2579-6

教職員や児童・生徒、保護者や地域に校長の教育理念を伝え浸透させ、めざす学校づくりを実現するためには、コミュニケーション力が最も重要。具体的な事例を取り上げ、コミュニケーション力を高める基本的な考え方や方策を示す。

はじめに

第1章 なぜいまコミュニケーション力が大事なのか

第2章 教職員とのコミュニケーションがうまくいく方法

- 1 職員室の雰囲気が悪い 【事例1】やる気のないベテラン教員
- 2 明るい職員室が生き生きとした児童・生徒を育む 【事例2】現任校に不満をもつ教諭
- 3 校長の言葉かけと教員の指導 【事例3】地域同士の反目が生徒に影響
- 4 チーム学校を目指して 【事例4】教職員や児童・生徒とうまくいかない
- 5 チーム学校とは言うけれど 【事例5】自分のやり方を押し通す事務主事
- 6 教職員間での立場の違いが生む意見対立 【事例6】学校司書と国語科教諭の対立
- 7 多忙な教師をおそう「うつ病」への対応 【事例7】前任校での「うつ」を知らされず転任

第3章 児童・生徒とのコミュニケーションがうまくいく方法

- 1 児童会・生徒会・委員会役員などとの対話 【事例8】生徒の自主性・自律性を生かした学校づくり
- 2 不登校やいじめ被害の児童・生徒への対応 【事例9】いじめが原因の不登校
- 3 課題のある児童・生徒への対応 【事例10】次第に欠席が増えていく生徒
- 4 特別な支援を要する児童・生徒への対応 【事例11】介助が必要な2人の児童
- 5 うつ病の可能性のある児童・生徒への対応 【事例12】落ち込むことが多くなった児童

第4章 保護者・地域とのコミュニケーションがうまくいく方法

- 1 学校への不信・不満をもつ保護者への対応 【事例13】担任に対する保護者の不満
- 2 クレームの多い保護者への対応 【事例14】クレーマーと言われる保護者の背景
- 3 PTAなど学校支援組織の保護者への対応 【事例15】行き詰まるPTA運営
- 4 学校運営協議会委員など地域の方への対応 【事例16】コミュニケーションに問題がある教頭
- 5 課題のある地域住民への対応 【事例17】騒音被害を訴える学校近隣住民

5章 教育委員会・関係諸機関とのコミュニケーションがうまくいく方法

- 1 学校行事に関する教育委員会との調整 【事例18】創立周年行事をめぐる学校と教育委員会の対立
- 2 人員配置に関する教育委員会との対応 【事例19】人事異動の影響
- 3 教育委員会担当指導主事及び担当者への対応 【事例20】教育委員会との対応に問題がある教頭
- 4 教育委員会指導課(室)以外の関係者への対応 【事例21】プライベートで議員に話した内容が公に
- 5 関係諸機関との対応 【事例22】図書館とのタイアップのつもりが...

悩み多き教師の皆様に寄り添う本

教師らしいストイックな堅さは、諸刃の剣。堅いだけでは、壊れてしまう! ストレスを溜めない、悩まない! 人とつながる「教師」のための処世術!

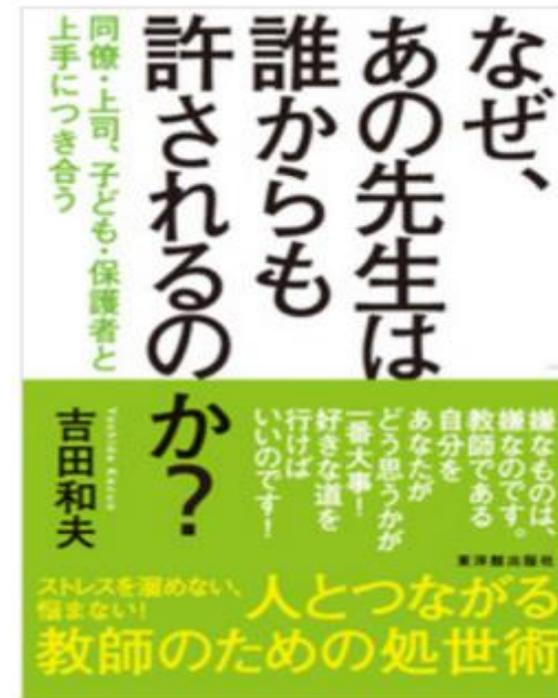
教師である自分を、あなたがどう思うかが一番大事! 自分をもっと好きになるノウハウ満載!

東洋館出版 2013年3月発行

現在4刷

定価 1,944円(税込)

<http://www.toyokan.co.jp/book/b107891.html>



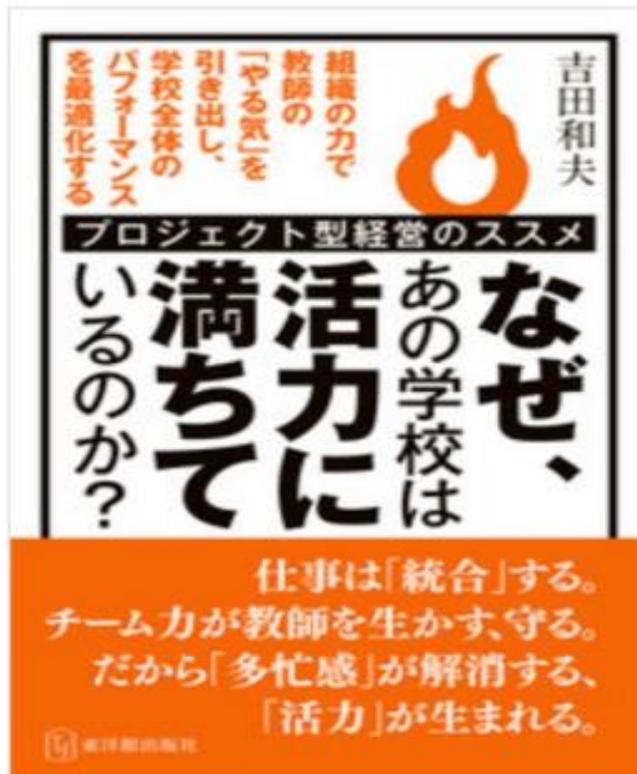
より良い学校経営と人財育成のための本

教員の「多忙感」を解消する学校経営、すなわちプロジェクト型経営を提案します。教員が仕事しやすい組織、教員のやる気を引き出すコーチングを通して、学校全体のパフォーマンスを高めます。そのプロセスで、教員間の「人間関係」をスムーズにし、教員の「多忙感」を解消します。

東洋館出版 2015年2月発行 現在4刷

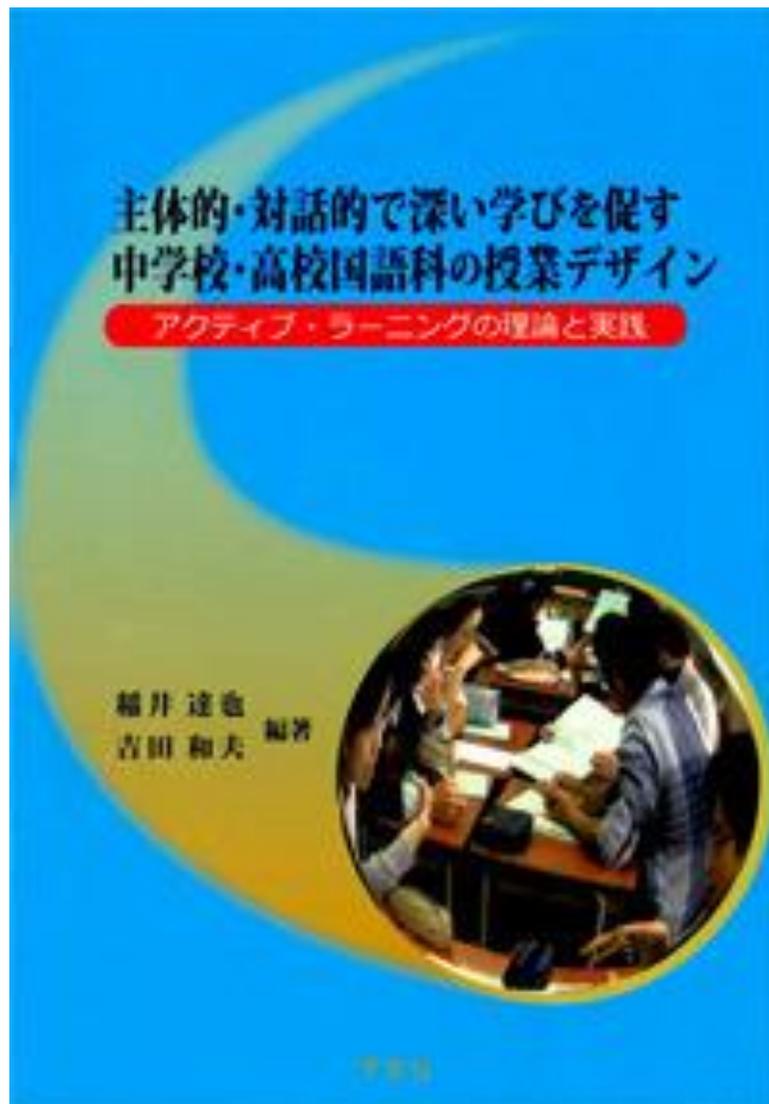
定価 2,160円(税込)

<http://www.toyokan.co.jp/book/b193953.html>



主体的・対話的で深い学びを促す中学校・高校国語科の 授業デザイン アクティブ・ラーニングの理論と実践

<http://www.gakubunsha.com/book/b252991.html>



中教審答申に示された「主体的・対話的で深い学び」、いわゆる「アクティブ・ラーニング」を取り入れた中学校・高校の国語科はどのように授業すればよいのか。その理論と方法を研究者が解説し、それらと関連づけてデザインした授業に取り組む教師がその実践内容を具体的に示しながら指導計画・展開例、評価規準等を丁寧に著した必読書。

「主体的・対話的で深い学び」 と読書・読書活動の関係

読書活動の意義や役割、その可能性を考えてみようとする先生方に、どの教科の授業でも、どの教科の教員でもすぐに手軽にできる読書活動や、授業の中で取り組める効果的な読書活動、読書指導を具体的に示す事例集。3刷決定



akuji.co.jp/book/978-4-111-8.html

読書及び読書活動は、
主体的・対話的で深い
学び である！

小学校の各教科、道徳、総合的な学習の時間、外国語活動で図書を活用した学習の先進的な実践事例集。単元指導計画、ワークシート例も豊富に掲載。楽しく・無理なく授業に読書を取り入れられます。

<http://www.gakuji.co.jp/book/978-4-7619-2328-0.html>



学校と社会教育を結ぶコンテンツとしての 言語としてのプログラミング学習



<http://social-edus.net/20177repprog/>

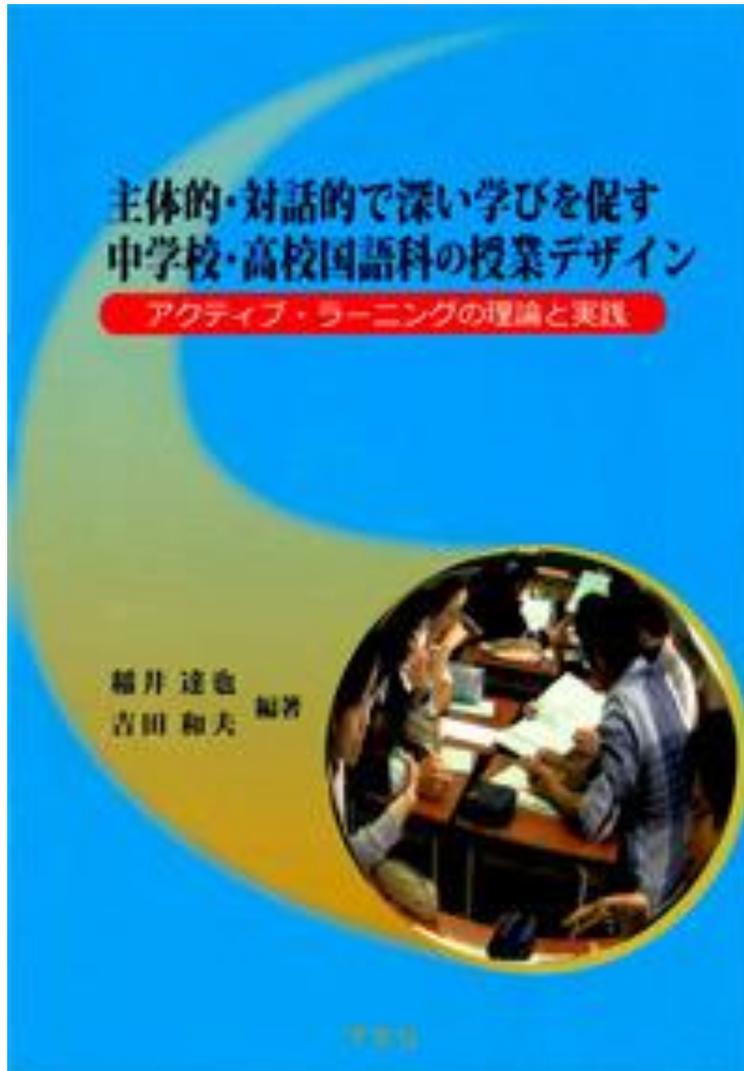
プログラミングは国語や英語と同じ「言語」だということです。いわば、機械を操作し、動かすための言語ということです。

国語教育では、「順序立てて考える力」、「感じたり想像したりする力」、「伝え合う力」などが求められていますが、まさに、プログラミング学習もそれが求められることになります。小学校でのプログラミング教育は、このような広い意味での「ことばの力」をはぐくむものだと言えます。

中学校、高校、大学でのプログラミング教育はより専門的かつ工学的なものになるのですが、小学校で求められるプログラミング学習は各教科で行われる「ことばの力」を育成し、それぞれの教科の内容を補充するツール(道具)として機能します。

主体的・対話的で深い学びを促す中学校・高校国語科の 授業デザイン アクティブ・ラーニングの理論と実践

<http://www.gakubunsha.com/book/b252991.html>



中教審答申に示された「主体的・対話的で深い学び」、いわゆる「アクティブ・ラーニング」を取り入れた中学校・高校の国語科はどのように授業すればよいのか。

その理論と方法を研究者が解説し、それらと関連づけてデザインした授業に取り組む教師がその実践内容を具体的に示しながら指導計画・展開例、評価規準等を丁寧に著した必読書。

「社会に開かれた教育課程」を実現する学校づくり

具体化のためのテーマ別実践事例15

貝ノ瀬 滋 [監修]

稲井 達也・伊東 哲・吉田 和夫 [編著]



「社会に開かれた教育課程」を実現する学校づくり—
具体化のためのテーマ別実践事例15 2018/12/12
学事出版発行
稲井 達也 (著, 編集), 伊東 哲 (著, 編集), 吉田 和
夫 (著, 編集),
貝ノ瀬 滋 (監修)

第1部

「社会に開かれた教育課程」を進める学校づくりの概説

- 1 「社会に開かれた教育課程」とこれからの学校教育
～多忙化する学校改革の視点から～
- 2 「社会に開かれた教育課程」を実現する教育委員会との連携の在り方
- 3 「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた校長・副校長・教頭の役割
～スクール・マネジメントの観点から～
- 4 「社会に開かれた教育課程」を実現する要としての学校図書館
～学ぶとは知ること、学ぶとは変わること～

[コラム]

「社会に開かれた教育課程」の具体を生み出す方法的枠組みについて

第2部

「社会に開かれた教育課程」を進める学校づくりの実践事例

- [1] コミュニティ・スクール
- [2] 保幼小連携教育
- [3] 小中一貫教育
- [4] 「読書のまち」と読書活動
- [5] 健康教育
- [6] 食育(スーパー食育スクール)
- [7] 睡眠教育(みんないく)
- [8] がん教育
- [9] 観光教育
- [10] グローバル教育
- [11] ESD(持続可能な開発のための教育)
- [12] 人格(品格)教育
- [13] キャリア教育
- [14] 特別支援教育
- [15] 主権者教育

テーマ別に15の実践事例を収録。
新学習指導要領を具体化するカリ
キュラム・マネジメントの必携書。
【教育課程/小・中学校管理職対象】



効果的な研修会のためのDVD教材

大津市のいじめ自殺をきっかけに再びクローズアップされているいじめ問題。いじめに発展しやすいサインの見つけ方、兆候があった際の対応法を映像で解説。

【小・中・高校管理職・教職員研修用】

●DVD31分 手引書、研修用ワークシート付き
学事出版(2014/12/15)



心を病み休職、さらには退職に至る教職員は年々増加している。本人や周囲が不調のサインに早期に気づき、対応するためのポイントを映像でわかりやすく解説。

【小・中・高校管理職・教職員研修用】

●DVD31分
手引書、研修用ワークシート付き
学事出版(2014/12・15)



急速に普及するスマホ・ネットに関連しての子ども達のトラブルが増加しているが、教師や保護者は知らないことが多い。知っておくべき知識、予防、対応を映像で解説。

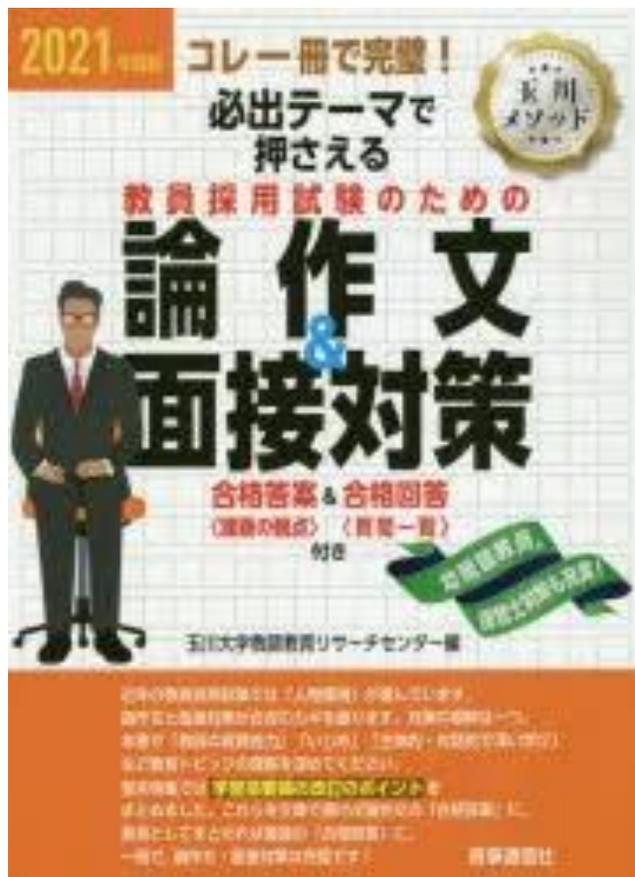
【小・中・高校管理職・教職員研修用】

学事出版(2015/12/15)
●DVD31分
手引書、研修用ワークシート付き
学事出版(2014/12/15)

<http://www.gakuji.co.jp/book/978-4-7619-2085-2.html>

見本動画あり！

3巻とも、全て定価 12,960円(税込)



<http://book.jiji.com/books/publish/p/v/1001>

2021年度版 必出テーマで押さえる教員採用試験のための論作文&面接対策
玉川大学教師教育リサーチセンター (編)
時事通信社 定価:2000円+消費税
2019年12月発行
ISBN:978-4-7887-1693-3

コレ1冊で教員採用試験対策は すべて解決!!
「論作文は『書く面接』であり、面接は『話す論作文』」と捉えた「玉川メソッド」の3年目です。論作文と面接の対策が1冊でできる参考書。学力問題、いじめ対策など、必出テーマすべてに合格答案例と合格回答付き！

近年の教員採用試験では「人物重視」が進んでいます。
論作文と面接対策が合否のカギを握ります。
対策の根幹は一つ。

本書で「教師の資質能力」「確かな学力」「いじめ」など教育トピックの理解を深めてください。それを文章で書けば論作文の「合格答案」に。意見としてまとめれば面接の「合格回答」に。これ一冊で、論作文・面接対策は完璧です！

第4章では幼児教育(幼稚園教員・保育士対策)を取り上げ、今年は更に充実させました。巻末特集として、学習指導要領改訂のポイント及び中央教育審議会答申、さらに「児童・生徒の学習評価の在り方について(抜粋)」を特別資料として掲載し、現状と対策の背景を提供。

現在、月刊誌3誌にコラムを連載中！



新しい「ラーニング・コミュニティをみんなで創ろう」で連載中

日本青年館 発行
<http://social-edu.com/>



4月より「学校の理不尽について」両誌に同時連載中！

学事出版 発行
<http://www.gakuji.co.jp/magazine/principal/index.html>

